

2017 年 3 月 23 日

KIX 2017 年国際線夏期スケジュールは過去最高の週 1,260 便に 国内線も奄美大島への就航でネットワークを拡充

関西エアポート株式会社は、関西空港の国際定期便 2017 年夏期スケジュールについて、引き続きアジア方面の好調がけん引し、過去最高の週 1,260 便を見込んでおります。(7 月ピーク時点)。2016 年夏期スケジュールに比べ週 19 便増加、2016 年冬期スケジュールに比べ週 12 便増加しております。国際旅客便数は週 1,126 便で過去最高、国際貨物便数は週 134 便で夏期スケジュールとして過去 9 番目の便数となっております。

国際線の方面別の動向として、長距離路線についてはバンクーバー線が今年は週 7 便のデイリー運航（2016 夏期：週 6 便）に、ヨーロッパ方面においては、フランクフルト線（2016 冬期：週 5 便）、アムステルダム線（2016 冬期：週 5 便）、ヘルシンキ線（2016 冬期：週 5 便）がデイリー運航にそれぞれ増便します。さらに、ホノルル路線も夏ピーク時の増便に伴い週 35 便（2016 夏期比 +14 便）へ増便します。短距離路線では、トランスアジア航空の会社解散による運休（2016 夏期比：-21 便（V エア含む））等による台湾方面の減便もありましたが、全体としては引き続き増加傾向にあり、中国方面は週 449 便（2016 夏期比：+14 便）、韓国方面は週 284 便（2016 夏期比：+29 便）となります。

国際線の新規就航路線については、「エアアジア X」が、LCC として初の太平洋横断路線となるホノルル線を週 4 便で新規就航するほか、ロシアの「S7 航空」がウラジオストク線を週 2 便で初就航します。関西空港からのウラジオストク線は 2008 年夏期スケジュール（ウラジオストク航空）以来、約 9 年ぶりとなります。

国際線の LCC 便数は週 378 便（2016 夏期比：+13 便）となり、国際旅客便の 3 分の 1 が LCC 便数となっております。

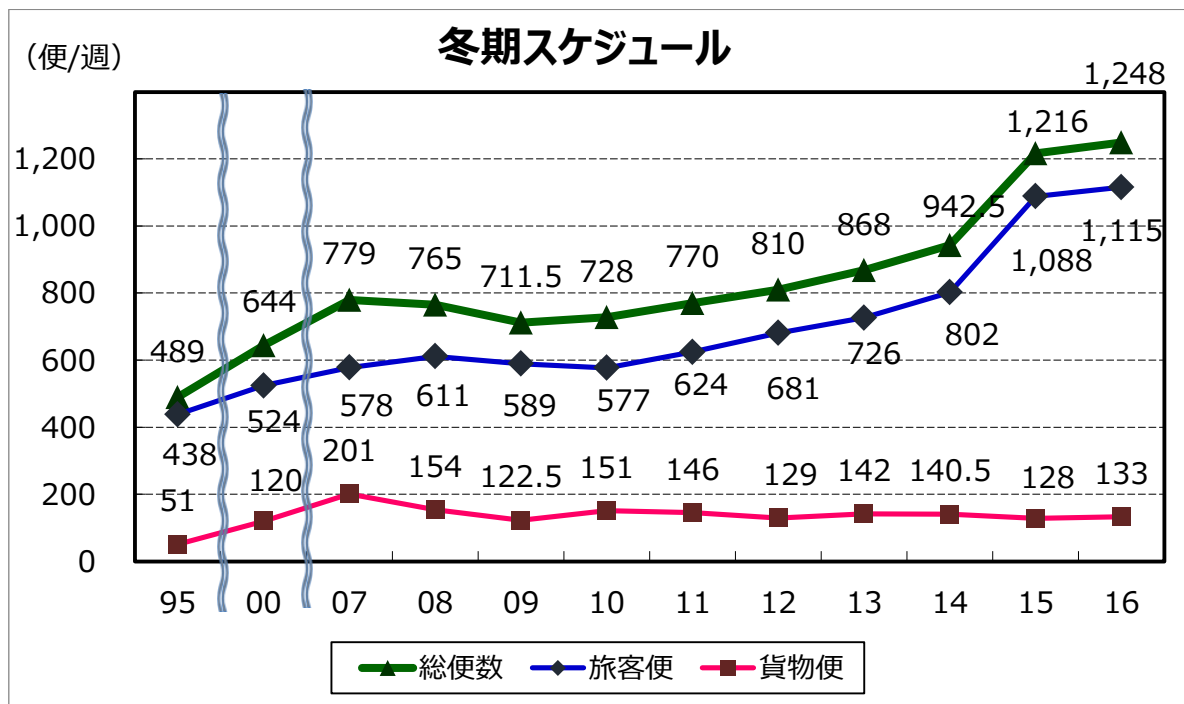
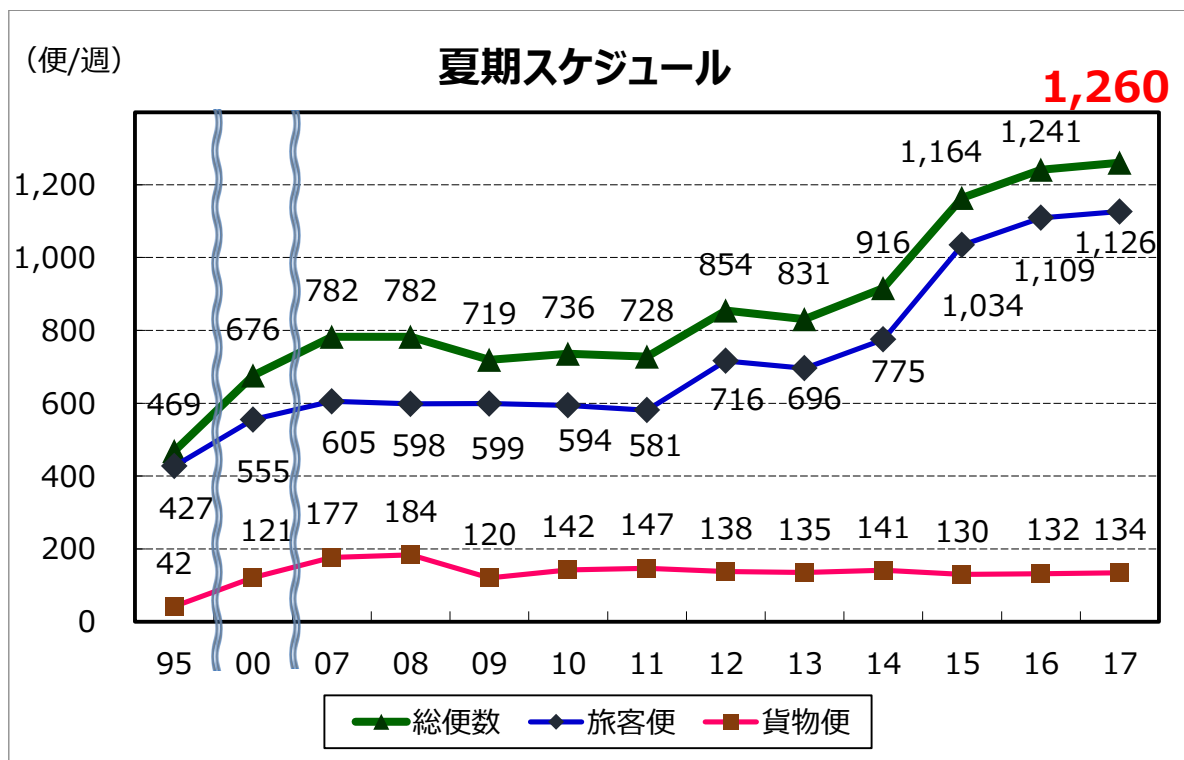
関西空港の国内線につきましては、2 月から関西空港国内線に就航したばかりの「バニラ・エア」が、3 月 18 日から函館へ、3 月 26 日からは奄美大島へデイリー運航と相次いで増便するなど、国内線航空ネットワークがさらに充実します。関西空港からの函館への就航は 2015 年 10 月以来、奄美大島へは 1998 年 11 月以来の定期便再開となります。

なお、関西空港の国内旅客便に占める LCC 便数は、1 日 41 便（2016 年 6 月比 +5 便）となっており、全体の半分以上が LCC 便数となっております。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
Tel : 072-455-2201

関西国際空港における国際線定期便 就航便数の推移



2017年夏期スケジュール 関西国際空港における主な増便等

● 旅客便

	航空会社	路線	便／週	増便数／週	就航時期	備考
F S C	 S7航空	ウラジオストク	0→2	2	4月28日から	2008 年の夏期スケジュール以来、約9 年ぶりの就航となります。
	 エア・カナダ	バンクーバー	0→7	7	5月14日から	昨年好評だったバンクーバー線がデイリー運航となりました。 関西空港からカナダへの唯一の直行便運航となります。
	 中国東方航空	南京＝成都	4→5	1	3月26日から	左記、中国各地点の便が増便され、渡航の選択肢が広がります。
	 中国南方航空	大連	3→5	2	3月26日から	
	 厦門航空	福州	3→4	1	3月26日から	
	 天津航空	天津	4→7	3	3月26日から	
	 北京首都航空	瀋陽	0→2	2	3月26日から	
L C C	 エアアジアX	ホノルル	0→4	4	6月28日から	LCCによる日本からホノルルへの直行便は日本初となります。
	 チェジュ航空	ソウル(仁川)	14→21	7	3月26日から	関西＝仁川線が拡充されます。
	 チェジュ航空	釜山	14→21	7	3月26日から	関西＝釜山線が拡充されます。

● 国内線

	航空会社	路線	便／週	増便数／週	就航時期	備考
	 バニラ・エア	函館	0→7	7	3月18日から	2月18日就航の関西＝成田線以来、同社国内線2路線目の開設。
	 バニラ・エア	奄美大島	0→7	7	3月26日から	路線としては、1998年以来、約 19 年ぶりの就航。

関西エアポート調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれています。

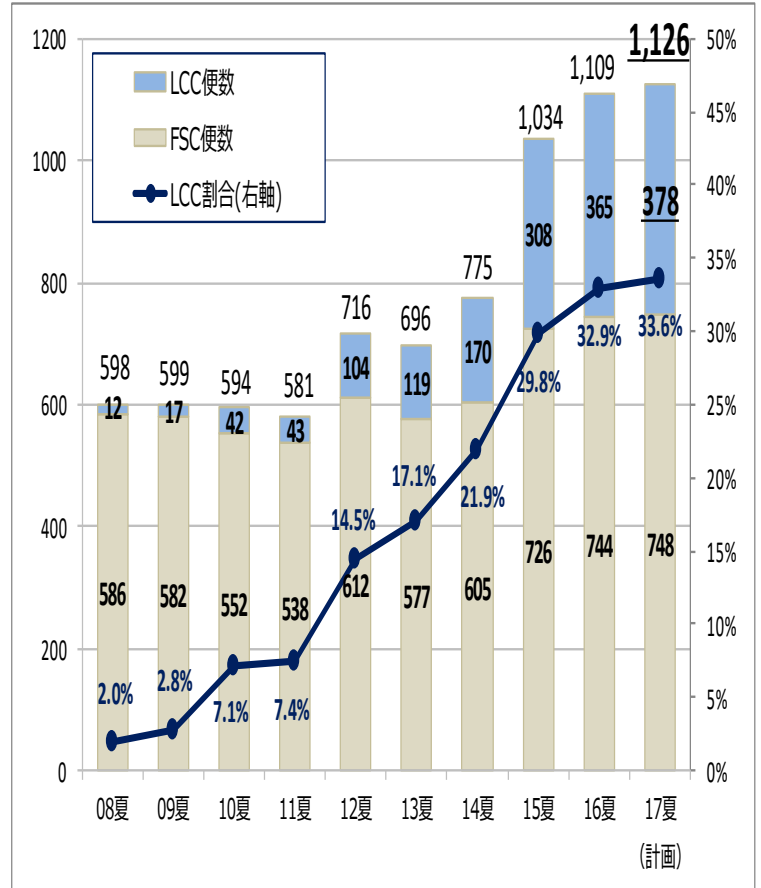
関西国際空港におけるLCCの概況及び方面別便数

◇国際線LCC内訳:17社20都市

航空会社	路線	便数/週
ピーチ・アビエーション (計82便)	ソウル(仁川)	28
	釜山	7
	香港	14
	台北	21
	高雄	7
	上海	5
ジェットスター・ジャパン	香港	7
バニラ・エア	台北	7
チェジュ航空 (計56便)	ソウル(仁川)	21
	ソウル(金浦)	21
	釜山	14
エアプサン (計28便)	釜山	21
	大邱	7
イースター航空 (計21便)	ソウル(仁川)	14
	釜山	7
ジンエアー (計28便)	ソウル(仁川)	14
	釜山	14
ティーウェイ航空 (計28便)	ソウル(仁川)	14
	大邱	7
	グアム	7
	上海	14
春秋航空 (計27便)	武漢	2
	天津	4
	重慶	3
	西安	1
	揚州	2
	洛陽(揚州経由)	1
	香港	24
タイガーエア台湾 (計17便)	台北	14
セブ・パシフィック航空	高雄	3
	マニラ	4
エアアジアX (計15便)	クアラルンプール	11
	ホノルル	4
ジェットスター・アジア航空 (計14便)	シンガポール(台北経由)	11
	シンガポール(マニラ経由)	3
スクート (計6便)	シンガポール(バンコク経由)	3
	シンガポール(高雄経由)	3
タイ・エアアジアX	バンコク(ドンムアン)	7
ジェットスター航空	ケアンズ	7
計		378

◇国際線旅客便数の推移

(便/週)



◇方面別便数内訳 (国際旅客便)

(便/週)

	14夏 (都市数)	14冬 (都市数)	15夏 (都市数)	15冬 (都市数)	16夏 (都市数)	16冬 (都市数)	17夏 計画 (都市数)	構成比
韓国	161 (3)	170 (3)	221 (4)	252 (4)	255 (4)	281 (4)	284 (4)	25.2%
中国	269 (21)	287 (25)	431 (41)	433 (37)	435 (37)	444 (37)	449 (34)	39.9%
台湾	106 (3)	105 (2)	133 (2)	165 (3)	165 (3)	148 (3)	140 (3)	12.4%
他アジア	107 (11)	113 (11)	122 (11)	124 (11)	131 (11)	142 (11)	132 (11)	11.7%
北米 (ハワイ含む)	31 (3)	35 (3)	40 (4)	35 (3)	48 (5)	33 (3)	56 (4)	5.0%
欧州	40 (6)	36 (6)	35 (5)	29 (5)	33 (5)	23 (5)	26 (4)	2.3%
その他	61 (7)	56 (6)	52 (7)	50 (7)	42 (4)	44 (5)	39 (5)	3.5%
合計	775 (54)	802 (56)	1,034 (74)	1,088 (70)	1,109 (69)	1,115 (68)	1,126 (65)	100.0%
本邦社	3社	4社	4社	4社	5社	5社	5社	
外航社	52社	56社	61社	63社	63社	62社	62社	
就航会社	55社	60社	65社	67社	68社	67社	67社	

* 中国方面には、中国本土、香港、マカオを含む。その他方面には、オセアニア、中東、極東アジアが含まれる。

航空会社別就航便数

国・地域名	航 空 会 社	2016年夏期 3/27～10/29 2016年7月(ピーク)	2016年冬期 10/30～3/25 2016年12月(ピーク)	2017年夏期 3/26～10/28 2017年7月(ピーク)		
		実績	実績	計画		
				旅客便	貨物便	合計
日本	日本航空	49	49	56		56
	全日本空輸	61	62	49	10	59
	ピーチ・アビエーション	77	82	82		82
	ジェットスター・ジャパン	12	21	7		7
	ニラ・エア	7	7	7		7
アメリカ	日本貨物航空	5	4		5	5
	ユナイテッド航空	21	19	21		21
	デルタ航空	21	7	10		10
	アメリカン航空	日本航空とCode.	日本航空とCode.	日本航空とCode.		日本航空とCode.
	ハワイアン航空	7	7	7		7
カナダ	フェデラルエクスプレス	48	48		49	49
	ユナイテッドパーセルサービス	16	15		16	16
	エア・カナダ	6		7		7
	ツルフトハンザドイツ航空	7	5	7		7
	KL M オランダ航空	7	5	7		7
フランス	エールフランス航空	5	4	5		5
	エアカレト・ニアインターナショナル	2	2	2		2
	アリタリア・イタリア航空	大韓航空とCode.	大韓航空とCode.	大韓航空とCode.		大韓航空とCode.
	カーゴルックスイタリア	2	2		2	2
	フィンランド航空	7	5	7		7
フィンランド	ターキッシュエアラインズ	7	4			
	エジプト航空	ターキッシュエアラインズとCode.	ターキッシュエアラインズとCode.			
	アラブ首長国連邦	7	7	7		7
	エミレーツ航空	大韓航空/アジアナ航空とCode.	大韓航空/アジアナ航空とCode.	大韓航空/アジアナ航空とCode.		大韓航空/アジアナ航空とCode.
	エティハド航空					
カタール	カタール航空					
	南アフリカ航空	全日空とCode.	全日空とCode.	全日空とCode.		全日空とCode.
	S7航空			2		2
	大韓航空	58	67	53	3	56
	アシアナ航空	37	44	42	2	44
中国	チェジュ航空	42	42	56		56
	エア・ブサ	21	28	28		28
	イー・スター航空	21	21	21		21
	ジン・エア	28	32	28		28
	ティー・ウェイ航空	25	28	28		28
中国	中国国際航空	47	45	45		45
	中国国際貨運航空	4	5		6	6
	中国東方航空	57	55	56		56
	中国貨運航空	3	3		6	6
	中国南方航空	40	40	42		42
厦門	厦門航空	7	6	8		8
	上海航空	7	7	7		7
	揚子江快運航空	5	5		5	5
	中国貨運郵政航空	5	5		5	5
	深圳航空	24	23	23		23
山東	山東航空	14	14	14		14
	春秋航空	38	38	27		27
	上海吉祥航空	21	28	28		28
	天津航空	8	6	9		9
	北京首都航空	5	2	4		4
奥	凱航空		2	2		2
	四川航空	3	3	3		3
	ユニットップエアラインズ		3			
	キャセイパシフィック航空	46	46	42	4	46
	香港エクスプレス航空	24	23	24		24
香港	香港航空	9	14	19		19
	エア・ホンコン	6	6		6	6
	マカオ航空	7	7	7		7
	エバール航空	36	37	35	2	37
	チャイナエアライン	52	52	39	13	52
マカオ	トランスアジア航空	14				
	タイガーエア台湾	17	18	17		17
	Vエア	7				
	フィリピン航空	21	21	21		21
	セブパシフィック航空	5	5	4		4
ベトナム	ベトナム航空	14	14	14		14
	タイ国際航空	14	14	14		14
	タイ・エアアジアX	7	7	7		7
	バンコクエアウェイズ	日本航空とCode.	日本航空とCode.	日本航空とCode.		日本航空とCode.
	マレーシア航空	7	7	7		7
マレーシア	エアアジアX	7	10	15		15
	フアイアフライ		マレーシア航空とCode.	マレーシア航空とCode.		マレーシア航空とCode.
	シンガポール航空	14	14	14		14
	ジェットスター・アジア航空	16	17	14		14
	スクー	6	6	6		6
インドネシア	ガルーダ・インドネシア航空	10	10	10		10
	エア・インドネシア	3	3	3		3
	ジェットエアウェイズ	全日空とCode.	全日空とCode.	全日空とCode.		全日空とCode.
	スリランカ航空	日本航空とCode.	日本航空とCode.	日本航空とCode.		日本航空とCode.
	カントラス航空	ジェットスターとCode.	ジェットスターとCode.	ジェットスターとCode.		ジェットスターとCode.
オーストラリア	ジェットスター航空	5	7	7		7
	ヴァージン・オーストラリア	シンガポール航空とCode.	シンガポール航空とCode.	シンガポール航空とCode.		シンガポール航空とCode.
	ニュージーランド航空	全日空とCode.	3	全日空とCode.		全日空とCode.
	週間就航便数	1,241	1,248	1,126	134	1,260
	1日あたり就航便数	177.3/日	178.3/日	160.9/日	19.1/日	180.0/日
合計	航空会社数	77社	77社	67社	15社	76社
	就航国(地域)数	24ヶ国	23ヶ国	20ヶ国	20ヶ国	24ヶ国
	就航都市数	85都市	84都市	65都市	44都市	82都市

※関西エアポート(株)調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれています。
※Codeは、コードシェア。

前年同期比較(16年夏期/17年夏期) 及び 前期比較(16年冬期/17年夏期)

航 空 会 社 名	16年夏期(実績)→17年夏期(計画)		16年冬期(実績)→17年夏期(計画)	
	増減便数 (ピーク時点)	主な増減便内訳	増減便数 (ピーク時点)	主な増減便内訳
日本航空	+7	ホノルル +7	+7	ホノルル +7
ピーチアビエーション	+5	上海 +5		
ジェットスター・ジャパン	△ 5	台北 △ 5	△ 14	台北 △ 7
〃				マニラ △ 7
ユナイテッド航空			+2	サンフランシスコ +2
デルタ航空	△ 11	ホノルル +3	+3	ホノルル +3
〃		グアム △ 7		
〃		成田/ニューヨーク △ 7		
エア・カナダ	+1	バンクーバー +1	+7	バンクーバー +7
ルフトハンザドイツ航空			+2	フランクフルト +2
KLMオランダ航空			+2	アムステルダム +2
エールフランス航空			+1	パリ +1
フィンランド航空			+2	ヘルシンキ +2
S7航空	+2	ウラジオストク +2	+2	ウラジオストク +2
ターキッシュ エアラインズ	△ 7	イスタンブール △ 7	△ 4	イスタンブール △ 4
大韓航空	△ 2	グアム △ 3	△ 11	仁川 △ 7
〃		済州 +1		グアム △ 4
アジアナ航空	+7	仁川 +7		
チェジュ航空	+14	仁川 +7	+14	仁川 +7
〃		釜山 +7		釜山 +7
エアブサン	+7	大邱 +7		
ジン・エアー			△ 4	仁川 △ 4
ティーウェイ航空	+3	グアム +3		
中国国際航空	△ 2	杭州 △ 2		
中国東方航空	△ 1	北京 +3	+1	南京/成都 +1
〃		南京/成都 +1		
〃		温州 △ 2		
〃		長沙 △ 2		
〃		南寧/昆明 △ 1		
中国南方航空	+2	上海 +3	+2	大連 +2
〃		大連 +2		
〃		深セン +1		
〃		瀋陽 △ 2		
〃		ハルビン △ 2		
厦門航空	+1	福州 +1	+2	福州 +1
〃				厦門 +1
深圳航空	△ 1	福州/深セン △ 3		
〃		無錫 +2		
春秋航空	△ 11	揚州 +2	△ 11	揚州 +2
〃		揚州/洛陽 +1		揚州/洛陽 +1
〃		西安 △ 1		西安 △ 1
〃		長春 △ 1		長春 △ 1
〃		武漢 △ 2		淮安 △ 1
〃		福州 △ 3		揭陽 △ 1
〃		青島 △ 3		福州 △ 3
〃		揚州/鄭州 △ 4		青島 △ 3
〃		上海/蘭州(上海どまりに)		揚州/鄭州 △ 4
〃				上海/蘭州(上海どまりに)
上海吉祥航空	+7	南京 +7		
天津航空	+1	天津 +3	+3	天津 +3
〃		大連 △ 2		
北京首都航空	△ 1	済南 △ 1	+2	瀋陽 +2
奥凱航空	+2	天津 +2		
香港エクスプレス			+1	香港 +1
香港航空	+10	香港 +12	+5	香港 +5
〃		貨物便 △ 2		
エバー航空	+1	台北 +2		
〃		貨物便 △ 1		
チャイナエアライン		台北 △ 1		
〃		貨物便 +1		
トランスアジア航空	△ 14	台北 △ 14		
タイガーエア台湾			△ 1	高雄 △ 1
Vエア	△ 7	台北 △ 7		
セブ・パシフィック航空	△ 1	マニラ △ 1	△ 1	マニラ △ 1
エアアジアX	+8	クアラルンプール +4	+5	クアラルンプール +1
〃		ホノルル +4		ホノルル +4
ジェットスター・アジア航空	△ 2	マニラ/シンガポール △ 1	△ 3	マニラ/シンガポール △ 2
〃		台北/シンガポール △ 1		台北/シンガポール △ 1
ジェットスター航空	+2	ケアンズ +2		
ニュージーランド航空			△ 3	オークランド △ 3
全日本空輸	△ 2	貨物便 △ 2	△ 3	貨物便 △ 3
日本貨物航空			+1	貨物便 +1
フェデラルエクスプレス	+1	貨物便 +1	+1	貨物便 +1
ユナイテッド・バーセル・サービス			+1	貨物便 +1
中国国際貨運航空	+2	貨物便 +2	+1	貨物便 +1
中国貨運航空	+3	貨物便 +3	+3	貨物便 +3
ユニットプエアラインズ			△ 3	貨物便 △ 3
計	19	1,241→1,260	12	1,248→1,260

定期旅客便就航便数(国内線)

地域	都市	ITM								KIX										
		2016年 夏期	2016年 冬期	2017年夏期						2016年 夏期 (6月まで)	2016年 冬期	2017年夏期(6月まで)								
				計	 JAL	 JAC	 ANA	 IBEX	 AMX			計	 JAL	 JTA	 ANA	 SFLA	 peach	 Jetstar	 SPRING JAPAN	 Vnair
北海道	札幌(新千歳)	10	10	10	4		6			14	13	16	3		4		6	3		
	函館	2	2	2	1		1				1									
東北・信越	青森	6	6	6	3		3													
	三沢	1	1	1	1															
	秋田	6	6	6	3		3													
	花巻	4	4	4	4															
	山形	3	3	3	3															
	仙台	14	14	14	7		5	2		4	4	4					4			
	福島	4	4	4			2	2												
	新潟	10	10	10	4		3	3												
東京	成田	4	4	4	2		2			7	12	10					3	4	1	2
	羽田	30	30	30	15		15			13	13	13	3		5	5				
近畿・中国・四国	但馬	2	2	2		2														
	隠岐	1	1	1		1														
	出雲	5	5	5	1	4														
	松山	12	12	12	3		9			1	1	1					1			
	高知	6	6	6			6													
九州	福岡	10	10	10	4		5	1		6	6	5			1		3	1		
	長崎	7	7	7	4		3			1	1	1					1			
	熊本	10	10	10	3		6		1											
	大分	7	7	7	3		3	1												
	宮崎	11	11	11	5		6			1	1	1					1			
	鹿児島	13	13	13	7		6			3	3	3					3			
	屋久島	1	1	1		1														
	奄美大島	1	1	1	1							1								1
沖縄	那覇	5	5	5	2		3			13	13	13		3	4		4	2		
	石垣									3	3	3		1	1		1			
	宮古									1	1	1			1					
1日あたり便数		185	185	185	80	8	87	9	1	67	72	72	6	4	16	5	27	10	1	3
就航都市数		26	26	26	21	4	18	5	1	12	13	13	2	2	6	1	10	4	1	2

※臨時便・チャーター便を除く。

※各期のピーク時点便数を記載。但し、関西国際空港の夏期便数は7月以降未判明部分があるため、6月までのピーク時点便数を記載。

■大阪国際空港 就航会社・・・日本航空(JAL)、日本エアコミューター(JAC)、全日本空輸(ANA)、アイベックスエアラインズ(IBEX)、天草エアライン(AMX)

■関西国際空港 就航会社・・・日本航空(JAL)、日本トランスオシャン航空(JTA)、全日本空輸(ANA)、スターフライヤー(SFJ)、Peach(APJ)、ジェットスター・ジャパン(JJP)、春秋日本(SJO)、バニラ・エア(VNL)

貨物定期便就航便数(国内線)

- 関西－中部－那覇 週6便(片道) 運航会社:ANA
- 那覇－関西 週6便(片道) 運航会社:ANA
- 成田－関西 週6便(片道) ※8月29日から運航開始 運航会社:ANA

関西エアポート株式会社 について

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目指しています。

関西エアポートは、2015 年 12 月 15 日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を 44 年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	資本金	250 億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015 年 12 月 1 日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、ヴァンシ・エアポート 40%、その他の出資者 20% ¹



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界 36 カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014 年に 50 周年を迎え、これからも経営戦略である「金融＋サービス」の加速化、「アジア等新興国の成長を取り込む」を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35 空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス 13 空港、ポルトガル 10 空港（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア 3 空港、日本 2 空港、ドミニカ共和国 6 空港、そしてチリのサンチアゴ空港には、合計で 200 社を超える航空会社が就航し、2016 年の旅客者数は 1 億 3,200 万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1 万 1,000 人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。2016 年の連結売上高は 10 億 5,000 万ユーロに達します。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レノボ株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京 U F J 銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構